



## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス

コード番号 4583 URL <http://www.chiome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 美女平 在彦 TEL 03-6383-3746

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年12月期第2四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	102	△22.0	△388	ー	△389	ー	△389	ー
28年12月期第2四半期	130	ー	△582	ー	△580	ー	△711	ー

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△15.02	ー
28年12月期第2四半期	△31.99	ー

（注1）平成28年12月期第2四半期累計期間の対前年同四半期増減率については記載しておりません。これは、比較対象となる平成27年12月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成しており、四半期財務諸表を作成していないことによります。

（注2）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	4,888	4,710	95.6
28年12月期	4,789	4,565	94.5

（参考）自己資本 29年12月期第2四半期 4,674百万円 28年12月期 4,527百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
29年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
29年12月期（予想）	ー	ー	ー	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

当社は「創薬事業」「創薬支援事業」の2つを報告セグメントとしております。創薬事業においては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、当社の業績予想は創薬支援事業の数値（売上高201百万円）のみ公表しております。それに伴い、全社の業績予想についても記載しておりません。なお、直近に公表されている業績予想からの修正はありません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	26,781,500株	28年12月期	25,455,500株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	146株	28年12月期	146株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	25,928,073株	28年12月期2Q	22,232,653株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。  
業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成29年8月15日に機関投資家・証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、本日東証への開示に合わせて当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明 .....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社の当第2四半期累計期間における創薬事業と創薬支援事業について、概況は以下のとおりとなります。

創薬事業においては、LIV-1205(ヒト化抗DLK-1抗体)及びLIV-2008b(ヒト化抗TROP-2抗体)のADC(\*)開発用途での全世界における独占的な開発・製造・販売権に関するオプションライセンス契約の下、スイスのADC Therapeutics社(以下「ADCT社」といいます)にて同プログラムの評価が行われておりました。

その結果、LIV-1205につきましては、2017年6月26日、ADCT社がオプション権を行使する旨の通知を受領しました。今後、同社とライセンス契約を締結することになります。当該契約締結により、当社はADCT社にLIV-1205のADC開発用途での全世界における独占的な開発・製造・販売権を供与し、ADCT社よりライセンス契約一時金を受け取ることになります。今後、ADCT社において研究開発が推進され各ステージに設けられた開発マイルストーンを達成できた場合には、当社はその進捗に応じたマイルストーン料を受領、また、上市された場合には、各年度の売り上げに応じたロイヤリティと販売総額に応じた販売マイルストーン料を受領する予定となっております。

また、LIV-1205の通常抗体は、2016年10月に米国国立がん研究所(National Cancer Institute; NCI)と締結した契約下で、小児がんに対する新薬候補の評価を目的とした組織であるPediatric Preclinical Testing Consortiumにて、動物モデルでの薬効評価が引続き実施されております。さらに、自社での臨床開発の準備に向けた社内体制の構築、治験薬製造に向けたCMO(受託製造機関)の選定等を開始いたしました。

LIV-2008b(ヒト化抗TROP-2抗体)につきましては、上記の通知と同日、同社からオプション権を行使しない旨の通知を受領しました。これによりADCT社とのオプションライセンス契約は終了いたしますが、今後当社は、得られている前臨床データに基づき、引き続き研究開発及び導出活動を継続いたします。

以上の結果、当該事業における当第2四半期累計期間の売上高は2,865千円(前年同四半期比11,503千円減少)、セグメント利益(売上総利益)は2,865千円(前年同四半期比8,593千円減少)となりました。

創薬支援事業においては、中外製薬株式会社及び同社の海外子会社であるChugai Pharmabody Research Pte. Ltd.との契約に基づく研究開発活動及び受託事業を行っております。また、田辺三菱製薬株式会社及びTanabe Research Laboratories U.S.A, Inc.との契約に基づく抗体作製プロジェクトも進めております。その他、ADLib®システムを活用した新たな受託案件及び共同研究も実施しております。

以上の結果、当該事業における当第2四半期累計期間の売上高は99,488千円(前年同四半期比16,617千円減少)、セグメント利益(売上総利益)は58,526千円(前年同四半期比15,882千円増加)となりました。

研究開発活動におきましては、ADLib®システムを用いた共同研究や、ハイブリドーマ、Bセルクローニング等の抗体作製技術を活用した、アンメットメディカルニーズが存在する疾患に対する治療用抗体の創製を中心に研究開発を実施しております。以上の研究開発活動の結果、当第2四半期累計期間における研究開発費は197,807千円となりました。なお、当社は抗体作製技術を核として事業を展開しており、全ての保有資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、研究開発費を各報告セグメントへ配分しておりません。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は102,353千円(前年同四半期比28,120千円減少)、営業損失は388,949千円(前年同四半期は582,694千円の営業損失)、経常損失は389,614千円(前年同四半期は580,928千円の経常損失)、四半期純損失は389,530千円(前年同四半期は711,230千円の四半期純損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は4,638,122千円となり、前事業年度末と比較して43,394千円減少いたしました。これは主に、販売及び一般管理費の支払による現金及び預金の減少や、消費税還付による未収消費税の減少によるものです。

## (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は250,240千円となり、前事業年度末と比較して142,604千円増加いたしました。これは主に、株式会社Trans Chromosomicsへの出資による投資有価証券の増加によるものです。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は177,607千円となり、前事業年度末と比較して46,467千円減少いたしました。これは主に、返済による1年内返済予定の長期借入金の減少や未払金の減少、資産除去債務の減少によるものです。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は4,710,755千円となり、前事業年度末と比較して145,677千円増加いたしました。これは、新株予約権の権利行使等による資本金及び資本剰余金の増加が、四半期純損失による利益剰余金の減少を上回ったことによるものです。

## (3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は4,512,929千円となり、前事業年度末と比較して40,248千円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により使用した資金は385,889千円となりました。主な内訳は、税引前四半期純損失の計上や未払金の減少です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は154,975千円となりました。主な内訳は、投資有価証券の取得による支出です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により取得した資金は500,616千円となりました。この内訳は、株式の発行による収入と長期借入金の返済によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日に発表いたしました平成29年12月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,553,178	4,512,929
売掛金	46,950	50,169
たな卸資産	35,475	39,338
未収消費税等	31,926	13,894
その他	13,986	21,790
流動資産合計	4,681,517	4,638,122
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置	459,689	339,924
減価償却累計額	△437,473	△322,262
機械及び装置（純額）	22,216	17,661
工具、器具及び備品	118,453	116,568
減価償却累計額	△105,353	△106,093
工具、器具及び備品（純額）	13,100	10,475
有形固定資産合計	35,316	28,137
投資その他の資産		
投資有価証券	—	150,000
敷金及び保証金	71,995	71,995
その他	324	108
投資その他の資産合計	72,319	222,103
固定資産合計	107,635	250,240
資産合計	4,789,153	4,888,362

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,565	24,328
1年内返済予定の長期借入金	50,004	24,994
未払金	34,705	19,665
未払費用	20,546	16,047
未払法人税等	20,702	30,495
預り金	5,815	3,620
前受収益	2,815	—
資産除去債務	—	8,700
賞与引当金	11,932	9,348
流動負債合計	169,088	137,199
固定負債		
長期借入金	4,159	—
資産除去債務	50,827	40,408
固定負債合計	54,986	40,408
負債合計	224,075	177,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,186,379	5,454,775
資本剰余金	5,176,379	5,444,775
利益剰余金	△5,834,757	△6,224,288
自己株式	△292	△292
株主資本合計	4,527,709	4,674,970
新株予約権	37,368	35,785
純資産合計	4,565,078	4,710,755
負債純資産合計	4,789,153	4,888,362

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	130,474	102,353
売上原価	76,371	40,962
売上総利益	54,102	61,391
販売費及び一般管理費		
研究開発費	346,405	197,807
その他	290,391	252,533
販売費及び一般管理費合計	636,797	450,341
営業損失(△)	△582,694	△388,949
営業外収益		
受取利息	135	19
有価証券利息	2,421	—
その他	237	523
営業外収益合計	2,795	543
営業外費用		
支払利息	297	148
株式交付費	692	716
その他	40	343
営業外費用合計	1,029	1,208
経常損失(△)	△580,928	△389,614
特別利益		
固定資産売却益	—	1,863
新株予約権戻入益	1,729	1,185
特別利益合計	1,729	3,049
特別損失		
固定資産売却損	—	1,755
投資有価証券評価損	105,846	—
特別退職金	24,800	—
特別損失合計	130,647	1,755
税引前四半期純損失(△)	△709,846	△388,320
法人税、住民税及び事業税	2,505	1,210
法人税等調整額	△1,121	—
法人税等合計	1,383	1,210
四半期純損失(△)	△711,230	△389,530

## （3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失（△）	△709,846	△388,320
減価償却費	56,610	5,422
投資有価証券評価損益（△は益）	105,846	—
特別退職金	24,800	—
売上債権の増減額（△は増加）	△5,957	△3,218
たな卸資産の増減額（△は増加）	6,085	△3,863
仕入債務の増減額（△は減少）	442	1,762
未収消費税等の増減額（△は増加）	△17,630	18,032
未払金の増減額（△は減少）	△16,181	△10,064
未払費用の増減額（△は減少）	△7,156	△4,499
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	7,119	11,003
その他	△14,995	△9,656
小計	△570,862	△383,403
利息の受取額	5,464	16
利息の支払額	△297	△148
法人税等の支払額	△4,294	△2,420
法人税等の還付額	341	65
営業活動によるキャッシュ・フロー	△569,648	△385,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△300,568	—
有価証券の償還による収入	2,200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△5,916	△4,975
投資有価証券の取得による支出	—	△150,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,893,516	△154,975
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△25,002	△29,169
株式の発行による収入	177,423	529,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,421	500,616
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,476,289	△40,248
現金及び現金同等物の期首残高	2,100,626	4,553,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,576,916	4,512,929

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）

当第2四半期累計期間において、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ268,395千円増加し、当第2四半期会計期間末において、資本金が5,454,775千円、資本剰余金が5,444,775千円になっております。